

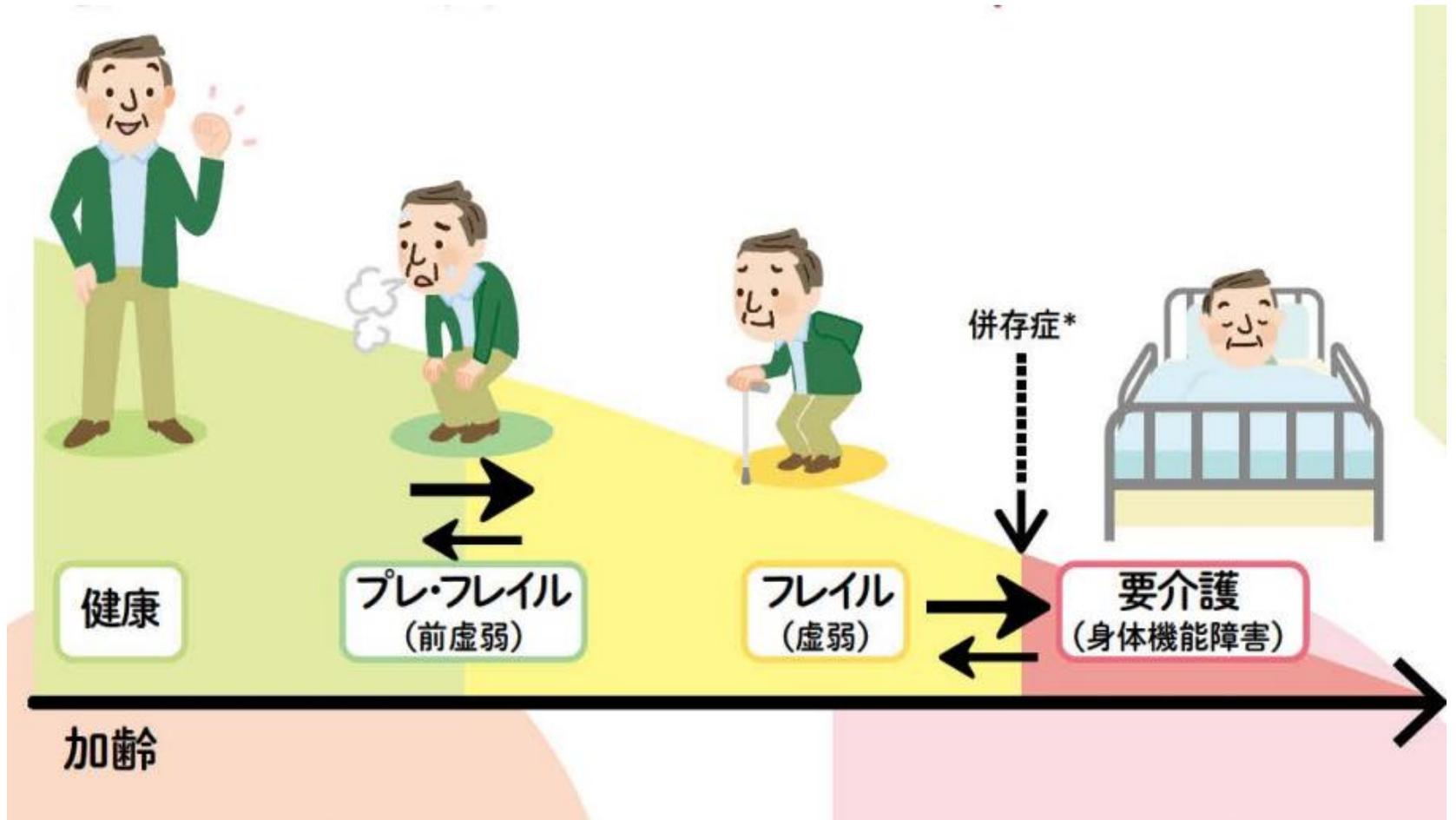
令和2年9月17日

東京都医師会記者会見

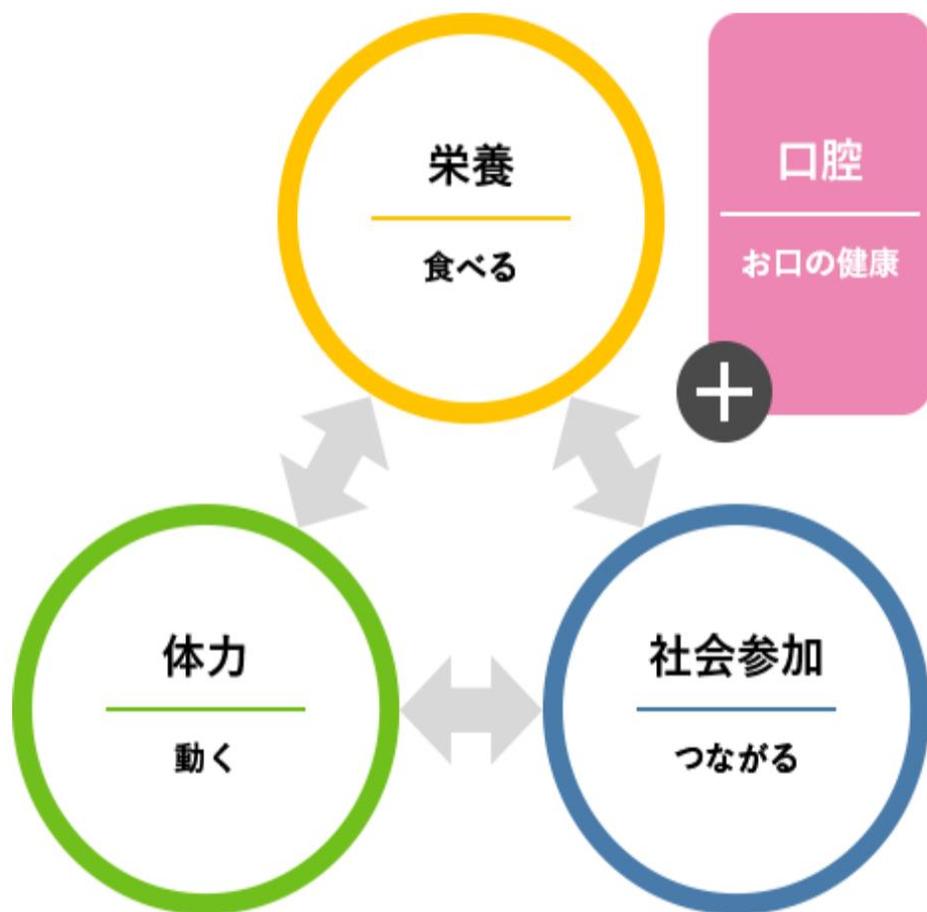
# 「過剰な自粛による新型コロナウイルス感染症 の2次被害」について

公益社団法人東京都医師会医療介護福祉担当

住み慣れた街でいつまでも  
—フレイル予防で健康長寿—



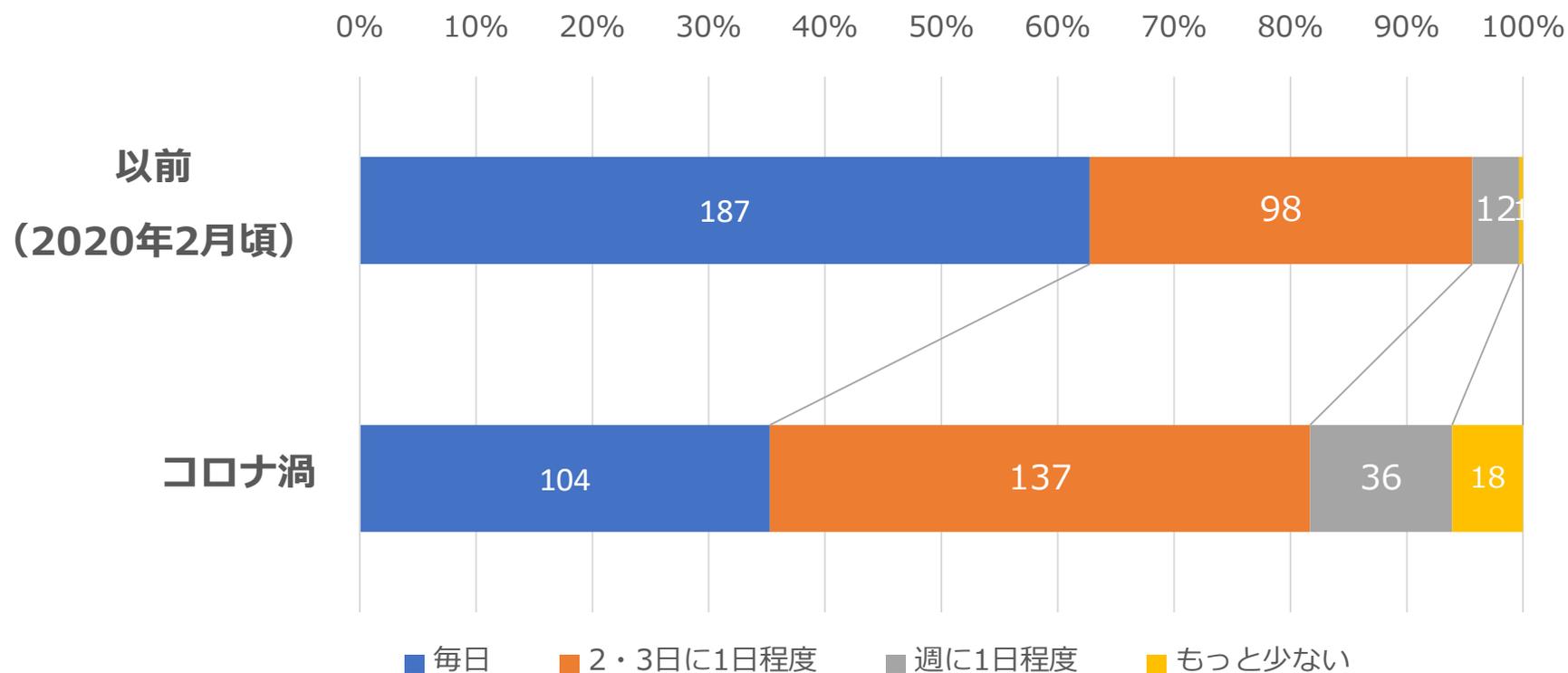
# フレイル予防のポイント



# 新型コロナ渦での外出自粛生活による生活パターンの変化 「孤立～閉じこもり、生活不活発の状況」

フレイルチェック活動導入自治体調査

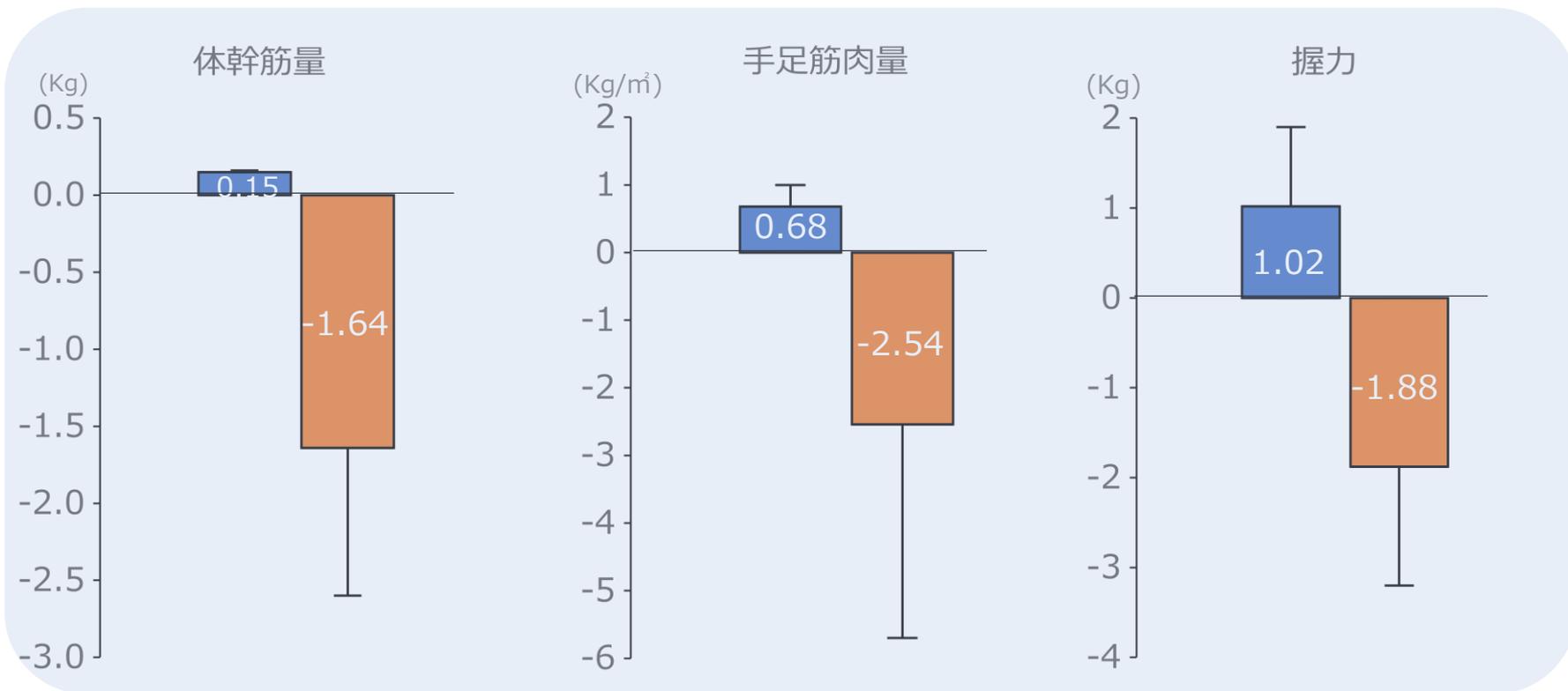
## 外出の頻度の変化



(東京大学高齢社会総合研究機構 孫輔卿、飯島勝矢. 論文準備中：一部改編)

# 新型コロナウイルス禍におけるフレイルチェックの変化

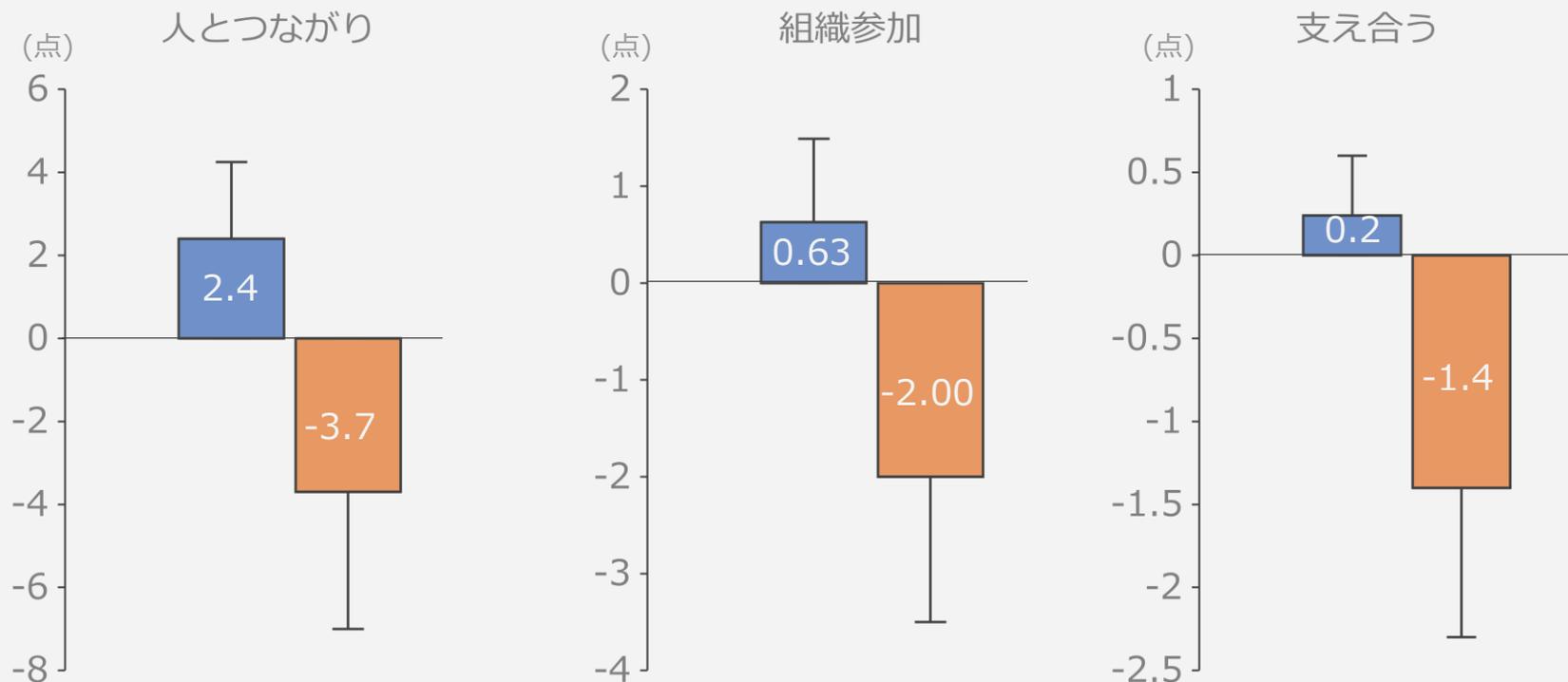
## ① 維持・増加群と② 低下群



(出典：東京大学高齢社会総合研究機構 孫輔卿、飯島勝矢，論文準備中 一部改編)

# 新型コロナ禍におけるフレイルチェックの変化

## ① 維持・増加群と② 低下群



(出典：東京大学高齢社会総合研究機構 孫輔卿、飯島勝矢、論文準備中 一部改編)

# コロナ禍での外出自粛生活の長期化の影響

# 40%以上の人で外出頻度が著明に低下した。

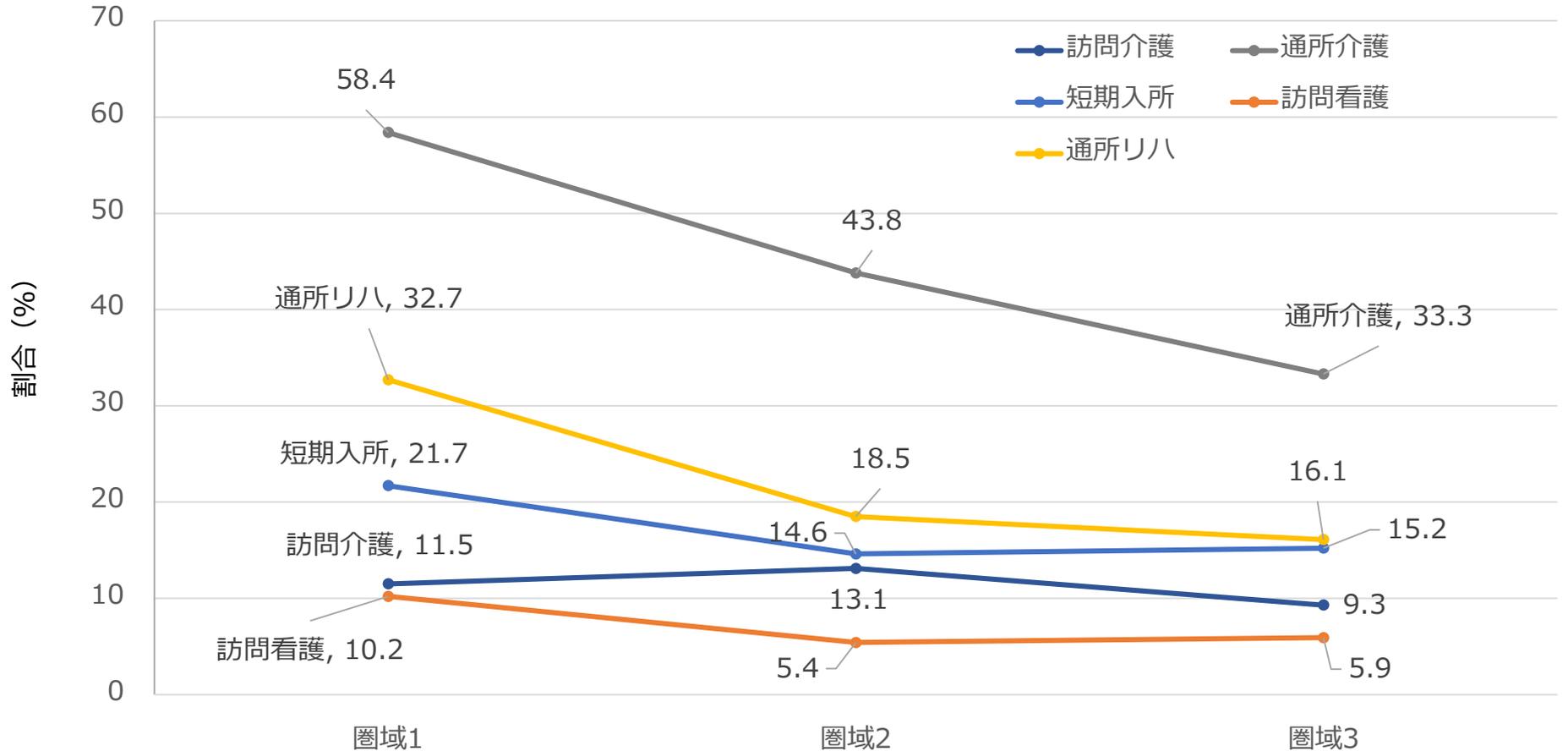
# 13%が週1回未満の外出頻度であった。

# 活動自粛により筋肉減弱（サルコペニア）が進行。

- 「**筋肉量が低下した高齢者**」は、身体活動量低下者で2.8倍、他者と会う機会の低下者で3.4倍多かった。同時に口腔機能低下者では5.2倍多い。
- 「**歩行速度が低下した高齢者**」は身体活動量低下者で3.4倍、他者と会う機会の低下者で9.5倍多かった。同時に口腔機能低下者で3.7倍多い。

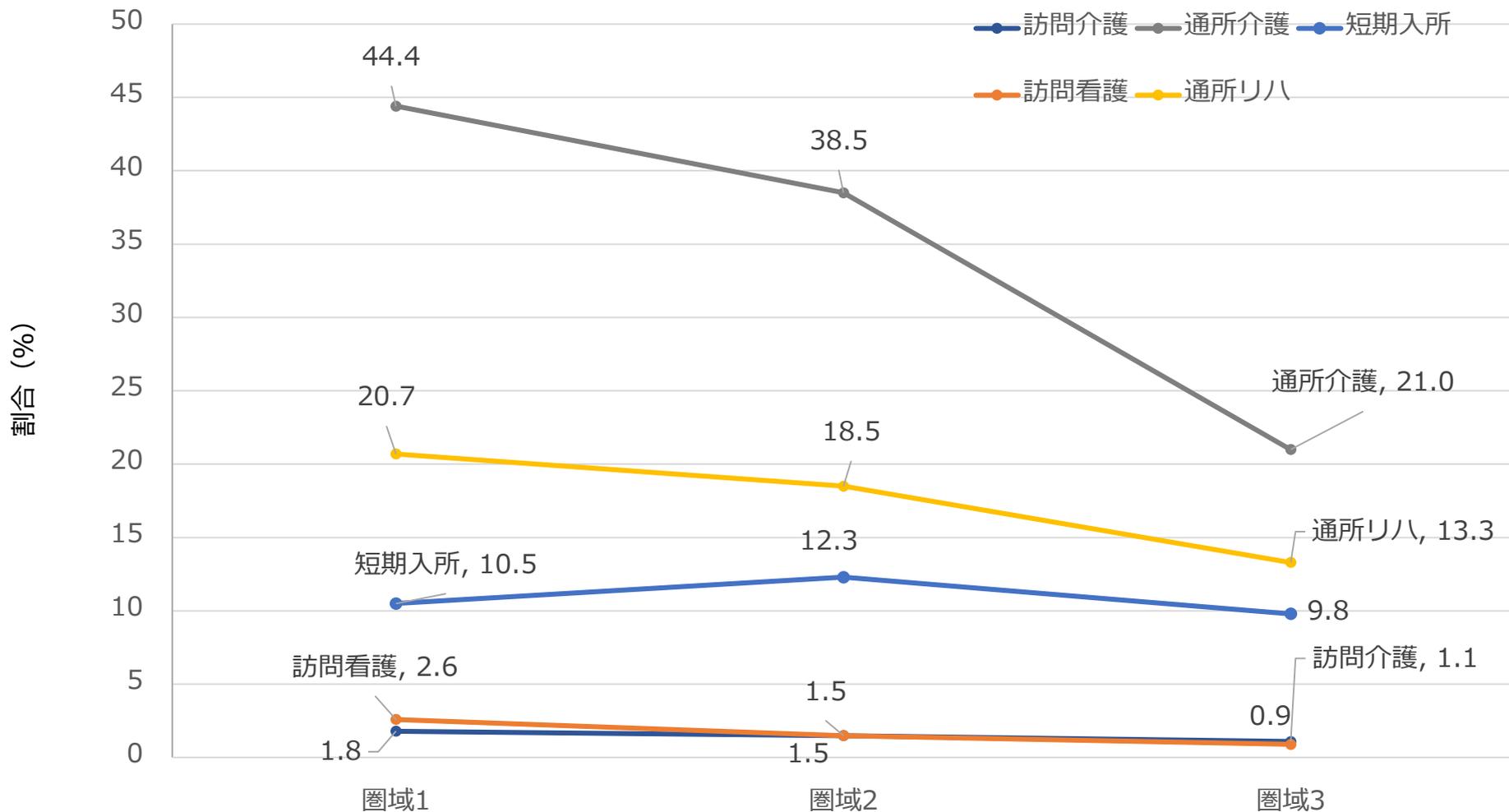
（出典：東京大学 田中友規、飯島勝矢，論文投稿中を一部改編）

## 圏域別サービス種類別にみた“事業縮小あり”と回答したケアマネジャーの割合



新型コロナウイルス感染症が介護・高齢者支援に及ぼす影響と現場での取組・工夫に関する緊急調査【ケアマネジャー調査】調査結果報告書  
2020年6月1日（6月24日更新）一般社団法人 人とまちづくり研究所 より

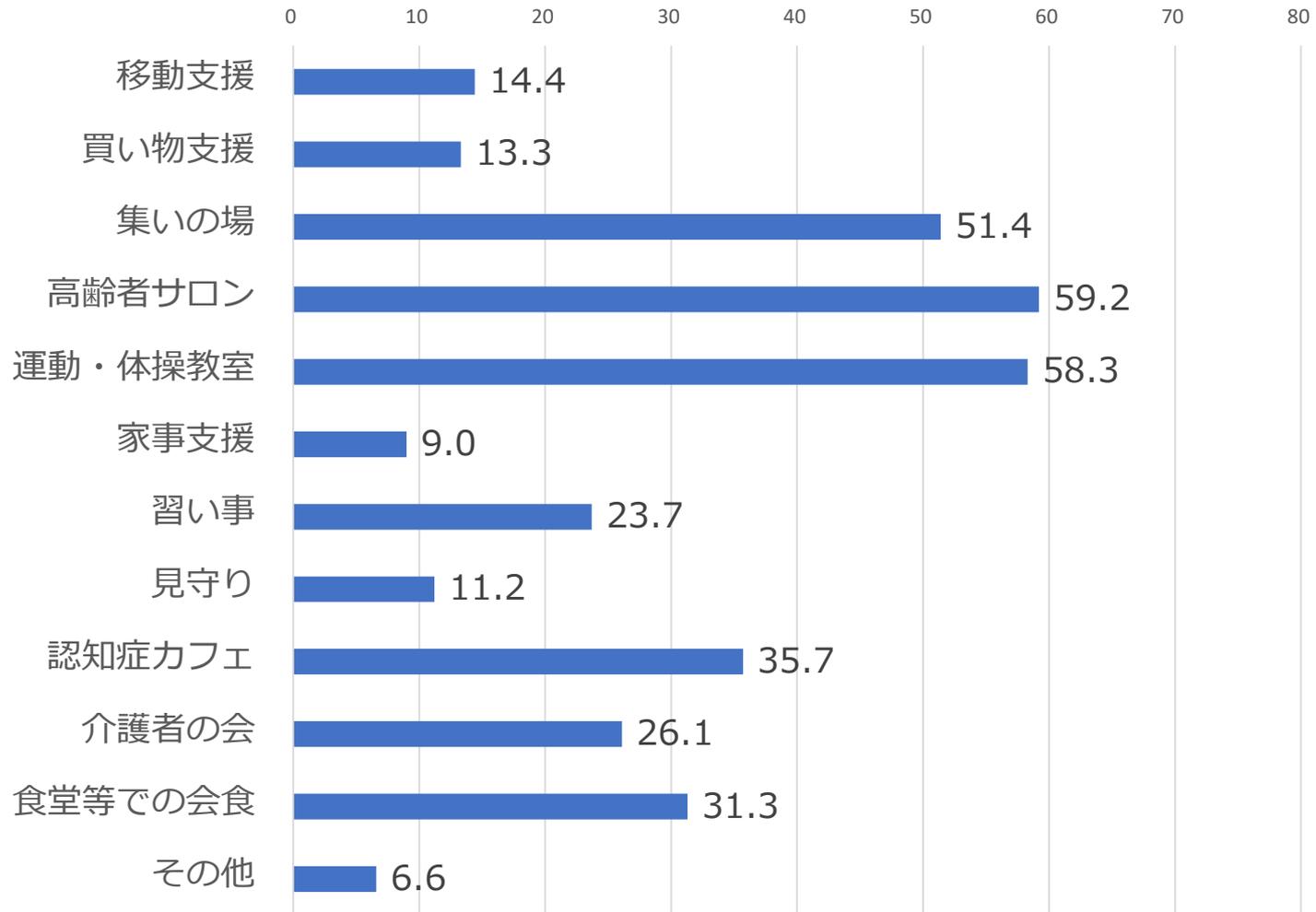
## 圏域別サービス種類別にみた“事業休止あり”と回答したケアマネジャーの割合



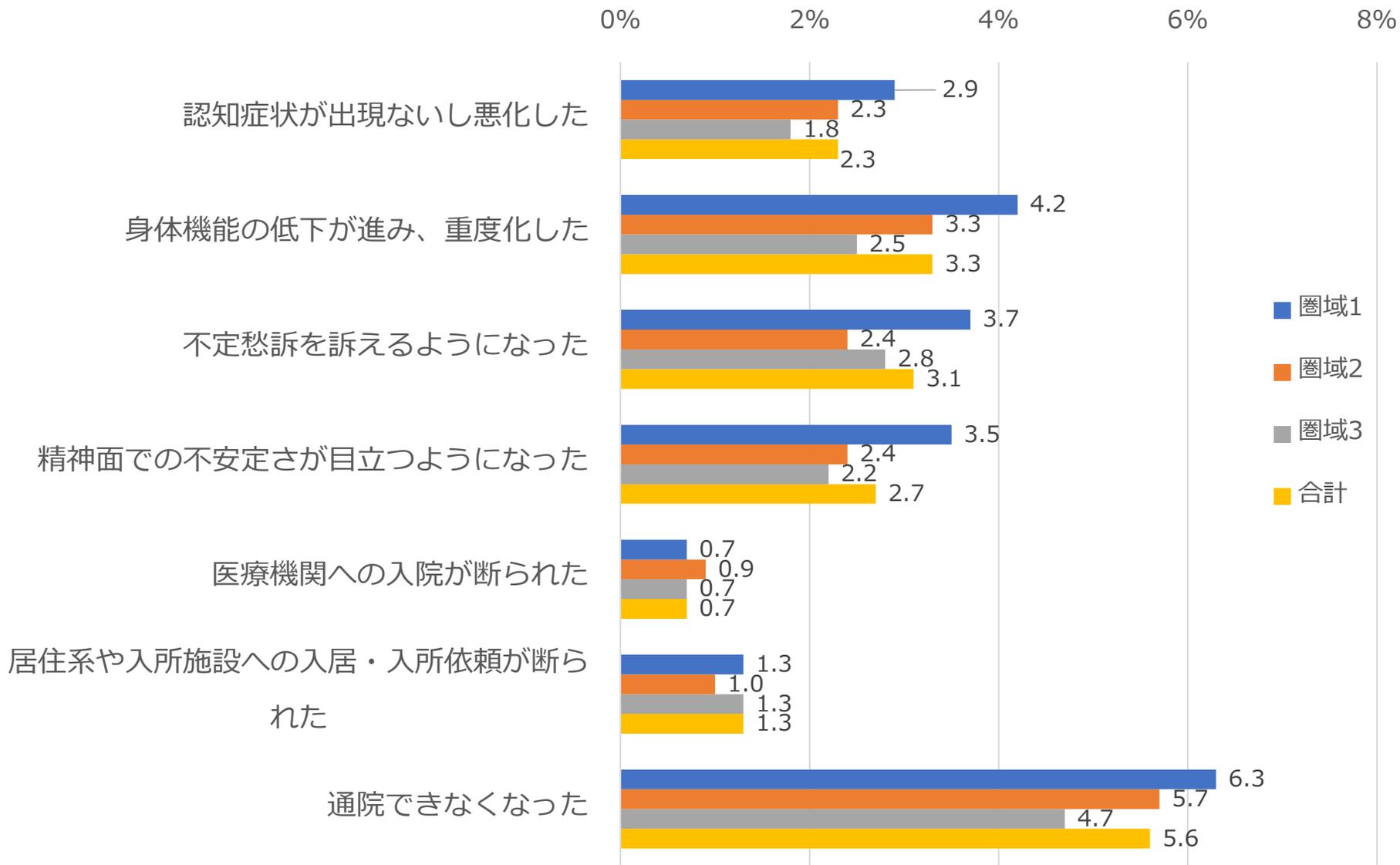
新型コロナウイルス感染症が介護・高齢者支援に及ぼす影響と現場での取組・工夫に関する緊急調査【ケアマネジャー調査】調査結果報告書  
2020年6月1日（6月24日更新）一般社団法人 人とまちづくり研究所 より

## 利用が困難になったインフォーマル資源

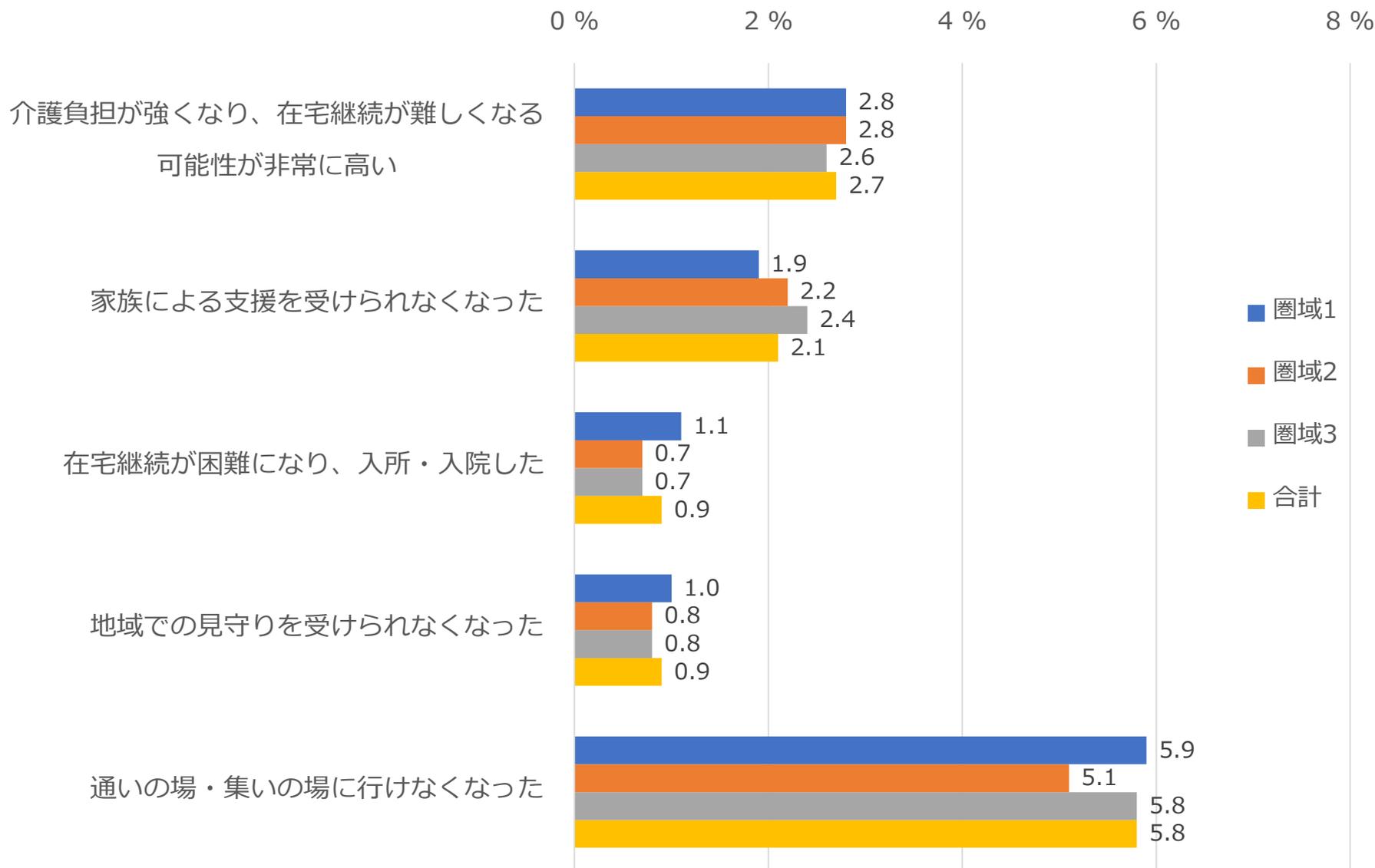
a)居宅介護(n=882)



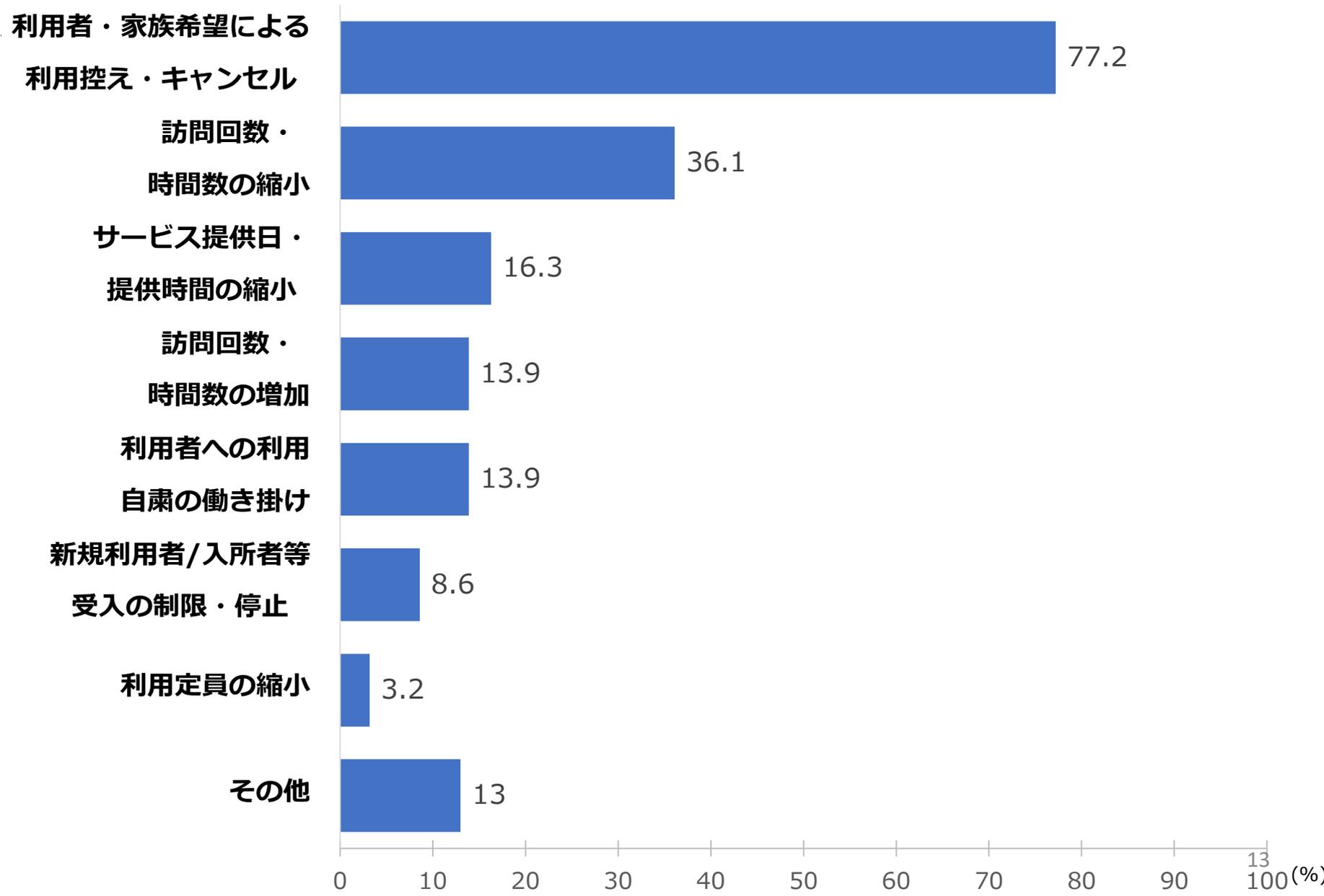
## 利用者への影響（対象：居宅介護の利用者）



## 利用者への影響（対象：居宅介護の利用者）



# 新型コロナウイルスの事業所運営への影響（複数回答,訪問系・7都道府県抜粋） （「介護保険サービス事業所調査」より作成）



# Withコロナ社会のもとで

- **高齢者、家族へ正しい知識の啓発**

過度の自粛を生む思い込みや誤解による不安を軽減し、出かけたいようになるように地域のかかりつけ医や専門職がそっと後押し。

- **工夫をしながら地域活動の再開**

自治体や感染症の専門家からの安全基準を提示。認証等。

- **新たなコミュニケーションツールの導入**

リアルでなくてもここで繋がりに、絆を感じることができる手軽なITツールの普及開発。

- **新たなサービス提供体制（地域支援をICT化）**

対面支援の基本を改め、電話、郵便、オンラインによる支援及びマネジメントを実施できる仕組み作り。

- **画一的でないリスク別の感染予防**

高齢者と非同居の壮健な40歳以下群。高齢者や健康リスク有、高齢者と同居有群。高齢者・有病者に接する医療介護等従事者群。群別の社会様式の工夫、感染対策を実施。